Prog

Printing Professional Log by EIWA

2011.June vol.9

【エイワのプログ】 印刷のプロ、永和印刷がサービス・技術の紹介や業界事情など最新の情報を発信していきます。印刷(Printing)のログ(Log)だからプログ(Prog)。PとRにはProfessionalとかProductといった意味も(単にPR誌だからという声も？)。第9号ではデジタル画像の弊社での取り扱い方法をご紹介いたします。支給していただいたデータをそのまま使用するのではなく、手を加えることによってリアルに再現しています。

これまでも、これからも、永和印刷は「もっと、伝えます——」。

2011年6月1日発行 vol.9 6月号

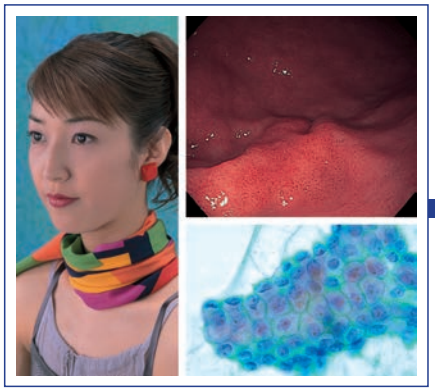
もっと、伝えます——永和印刷株式会社

TOPICS デジタル画像の取り扱い（カラーマネジメント）

デジカメをはじめとするデジタル機器の普及により、スライドや紙焼に代わって、デジタル画像での入稿が当たり前になっています。でも、出来あがってきた校正や印刷物を見ると、画面で見ていたものと全く違う!! 修正を指示しても期待したような仕上がりにならなかった!! 印刷にまつわる仕事をしている人なら、誰でもそのような経験をしているのではないでしょうか？

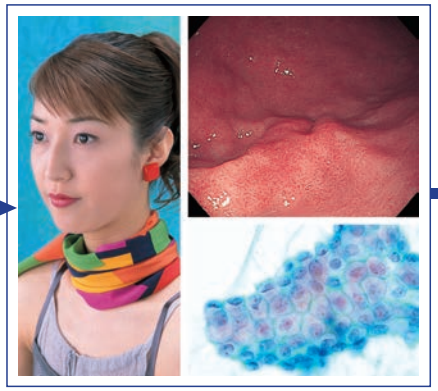
永和印刷ではそのようなお悩みを解消するため、デジタル画像を以下のように取り扱っております!!

（サンプル画像右上は医学書院「胃と腸」誌45巻12号p1920、右下は「細胞診を学ぶ人のために 第5版」p199より使用）



通常の場合

↑RGB画像をPhotoshopなどの一般的な画像ソフトでCMYKに変換すると、全体に暗くて色調も変わってしまいます。



第1のポイント

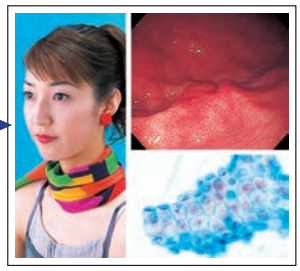
↑変換の専用ソフト・プロファイルと熟練スタッフの調整によって、本来のRGB表現に近づけた色再現を実現します。

補正例①

明るく、鮮やかにする

補正例②

コントラストをつける



補正例③

シャープに、メリハリをつける

第2のポイント

↑色校正やデジコンを見ていただき、細部の調子や色調をさらにご要望に近づけるように加工・補正をいたします。

DIGITAL CLINIC 出張版

Dr. Hagiのココがポイント

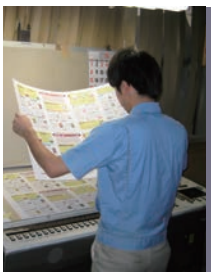
①専用ソフト・プロファイルによるRGB画像の変換
②お客様のご要望にあわせた加工・補正
③通常よりも細かい線数による美しいカラー印刷

※プルーフ・デジコンを印刷の仕上がりに近づけるために、自社の印刷機に合わせたプロファイルの作成、色管理、製版カーブの調整を行なっているので、校正にその特徴が表れることがあります。

第3のポイント

細部まで忠実に印刷

→210線の中精細でCTP出力、輪郭や細かい色調の変化を再現し美しい仕上がりを実現いたします（詳細は裏面Dr. Hagiのコーナーをご覧ください）。



FAX申込書

TEL 03-3813-5001
FAX 03-3813-5005
メール mail@eiwa-p.com

永和印刷では現在「編集お試し無料キャンペーン」「印刷工場見学会」を開催しております。
また、ご興味を持っていただいた方へのご説明、お見積りも受け付けております。
今すぐご連絡ください!!
下記に○印と必要事項をご記入のうえ、弊社宛にFAXを送信してください（お電話・E-mailからも可能です）。

- 編集サンプル作成希望
- 印刷工場見学会(DTP・印刷)希望
- お見積り希望
- 営業員訪問希望

ご希望の日時 月 日 時

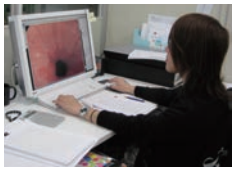
御 社 名

担当者氏名

ご 連 絡 先

永和のわ

印刷会社にはさまざまな仕事をする人がいます。
このコーナーでは弊社従業員の人となりと仕事の内容をご紹介いたします。



卓越した色補正技術と高性能ソフトで鬼に金棒

秋庭　弘喜（あきにわ　ひろき）
担当業務　組版オペレーター＆画像補正
近況　RGB 画像を印刷に最適な状態になるように補正する専用ソフト「カラージーニアス（大日本スクリーン）」を導入して、プロファイルによる再現性の高い変換を実現しました。
ソフト・プロファイルによる色調の再現性は向上しましたが、微妙な変化や自然な感じを出すなど、人間の目でチェックして微調整をすることでよりリアルに再現しております。
色調の補正・レスポンス等の加工の要望に満足していただけるモノを仕上げますので、営業担当者に遠慮なくお伝えください。

編集室の独り言

ゴールデンウィークに出かけるなんぞ愚の骨頂と考えていたのに、何故か出かけてしまい、町田街道でど壺にはまり込んでしまったことがある。ゴールデンウィークを呪い、サンデードライバーどもが灯すブレーキランプと未熟なドライブテクニックを罵っていた。
隣ではカミさんが「だから止めようって言ったじゃない」と言ったきり冷たい顔。
のろのろと進むなか、前方に「色の道、教えます」と読める看板。何だ「色の道」とは？
町田街道沿いに風俗店なんかあったか？　と早く看板に辿り着いて確かめたい思いにかられ、のろのろ渋滞が余計にイラつく始末。
数百メートルを数十分かけて、ようやく到着したら、ただのペンキ屋で「誰がこんなペンキ屋に頼むか！　バカ野郎！」と再び悪罵の連発、汚言症（coprolalia）は頂点に。
カミさんは「何考えてたの？」と呆れ顔でさらに冷たい。
紙面が尽きてきた。本題の「色」である。最近４色刷りの本が増えてきて、印刷屋に身を置く立場としては歓迎である。ところがその満艦飾の色遣いが問題なのである。
小生の傍にいるＦ氏は「将来の電子書籍化を踏まえての色遣いなんじゃないの」とクールに分析。なるほどと首肯したものの、どうも面白くない。書籍は CMYK で、ウェブは RGB でしょ。ブックデザインはブックデザイン、ウェブはウェブデザインで別物、単に置き換えりゃいいってものではないはず。
そこで「書籍の色の道、教えます」って。
なに？　おまえが言うと嫌らしいってか！？

永和印刷編集子

担当者はこんな人

小材 健

震災で帰宅難民を経験して以来、ちょくちょく自転車通勤をしています。おかげで食（酒？）欲が増進し、減量どころか増量してしまいがっかり。ただ、体力はついたはず……そう信じて挑んだＧＷのお台場での潮干狩りでは、発案者なのにちっとも働かない妻とヘタレの次女を尻目に、アサリを大収穫、砂抜き・調理までして大活躍!! まではよかったのですが、翌日にものすごい筋肉痛!!　その日は電車で通勤しました。やっぱり中年オヤジですが、「元気があれば何でもできる」の精神で頑張りますのでよろしくお願いいたします。

Dr.Hagi（ドクターハギ）のデジタル・クリニック DIGITAL CLINIC

calte.009

印刷のお悩みご相談下さい

スクリーン線数ってなに？

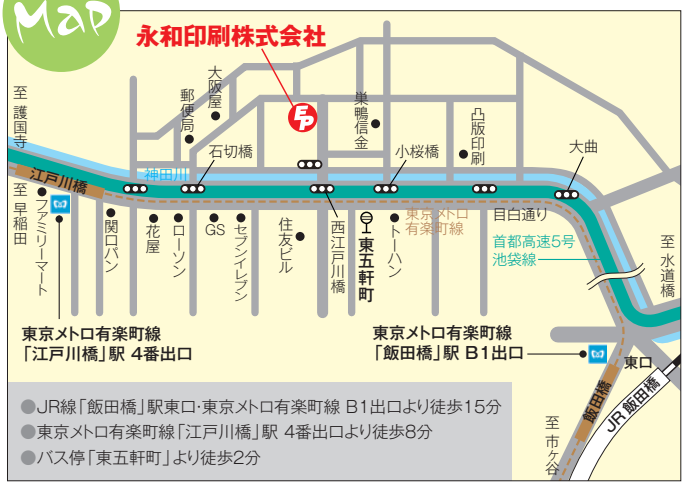
Dr.Hagi：印刷の精度を表す尺度で、１列状（線状）に並んだ網点の１インチ当たりに入る数のことです。線数が高くなれば網点が細かくなり、より繊細に細かい部分も再現できるようになります。一般的に新聞は 65 ～ 100 線、カラー書籍などは 133 ～ 175 線で刷ります。最近では 200 線以上での印刷（写真集、美術書、ポスター等）も浸透しつつあり、弊社でも４色刷りの物は 210 線で印刷をしています。

線数をあげれば綺麗になっていくの？

Dr.Hagi：一概に線数をあげれば綺麗になるという訳ではありません。印刷機、紙などによっても左右されますし、逆に階調がもの足りなく感じるケースもあります。
画像解像度もスクリーン線数に適した解像度でなければいけません。一般的に画像解像度はスクリーン線数の２倍以上と言われています。よく聞く「画像解像度は 350dpi 以上」というのは、上記で書いた 175 線（一般的なスクリーン線数）の２倍の数値なのです。
補足ですが、Photoshop などで後から解像度をあげても画像は鮮明になりません。低い解像度の画像でも縮小して使うのであれば大丈夫な場合もあり、例えば解像度が 72dpi の時は約 20％のサイズで使うのであれば大丈夫です。加工・補正にも限界がありますので、データをご支給していただく際にはなるべく品質の良いものをご用意ください。

萩：「解像度が低すぎるので、解像度をあげればいいですか？」
先輩：「あのなぁ～　解像度を強引に上げても意味はないんだよ。DTP では当たり前の事!!!　それくらい覚えとけ!!!」
そんな、昔を思い出しつつ、今日も解像度に頭を悩ませながら画像を貼り続ける Dr.Hagi でした。

Map



プリプレスの内製化と新印刷機導入に続き、新スタッフも続々と入社！　お客様への新しい提案に邁進する永和印刷へ足を運んでみませんか？　弊社ではお客様の製造現場として、随時ご来社を歓迎しております。お気軽に担当営業員までどうぞ！

編集後記

東日本大震災では、工場での被害はありませんでした。用紙やインキなどの品不足も解消されてきています。振り返ると何よりも心配なのは停電でした（まだ不安？）。電気がなくては印刷機も DTP のパソコンも使えず、突然の停電＆復旧の見通し不明という事態が起きたら、印刷機は大変なことに……それでも被災者の方々の苦労を考えれば、少々不便でも普通に生活できる環境にあるだけありがたいことです。予測がつかない状況だからこそやれることはしっかりと!!　Prog もその一つです。　（KK）

Prog 【エイワのプログ】
Printing Professional Log by EIWA
2011 年 6 月 1 日発行 vol.9　2011.June

永和印刷株式会社
〒 112-0005 東京都文京区水道 2-4-23
TEL. 03-3813-5001 FAX.03-3813-5005
E-mail（営業部）mail@eiwa-p.com
（DTP 事業部）dtp@eiwa-p.com
http://www.eiwa-p.com

次号は 2011 年 9 月 1 日発行予定です。